




# 人に、 自然に。

リボン側溝

本当のやさしさをめざして。

 菊田陶業株式会社



● ふたがガタつかない ●

# リボーン側溝

## ●騒音がでない側溝

高度経済社会の日本に於いて、車の保有台数は年々増加の一途を辿っている現在、街中の一車線道路は道路側溝に蓋をし、狭い道路をより有効に活用し、安全に車の通行が出来るようになってきました。

しかし、現状況下において社会問題になっている事があります。それは、側溝蓋の騒音です。従来の現場打ち側溝もさる事ながら、二次製品側溝の蓋も騒音が発生しているのです。

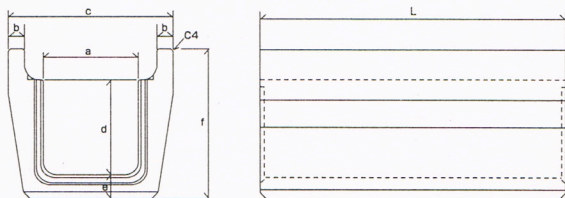
この度、リボーン側溝は受けの部分・蓋の部分に曲線になる事で、構造的に車の通行による騒音を減少させるというものです。



ここが  
ポイント

この部分を  
曲線にしたことで  
騒音が激減!!

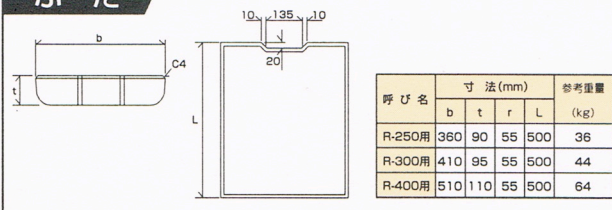
### 本体



(単位:mm)

呼び名	寸法							参考重量 (kg)
	a	b	c	d	e	f	L	
R-250	250	45	460	250	65	405	2000 又は 1000	383
R-300A	300	50	520	300	70	465		479
R-300B	300	50	520	400	70	565		564
R-300C	300	50	520	500	80	675		610
R-400A	400	55	630	400	70	580		618
R-400B	400	55	630	500	80	690		692

### ふた



## ◆特徴◆

1. 構造的要因(蓋受け部を曲面)によりガタつき音が減少できます。
2. 騒音防止ゴム等を使用する必要がありません。
3. JIS道路用側溝(JIS A 5345)と内空断面が同じで、しかも自動車設計荷重25t対応です。
4. 本体の蓋受け部が曲面のため、側溝掃時に異物が溜まりません。
5. 蓋の取り外しが簡単にできます。

リボーン側溝工業会会員  

**菊田陶業株式会社**

本社 / 〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤町二丁目3番12号 TEL022-272-1122(代) FAX022-275-2242



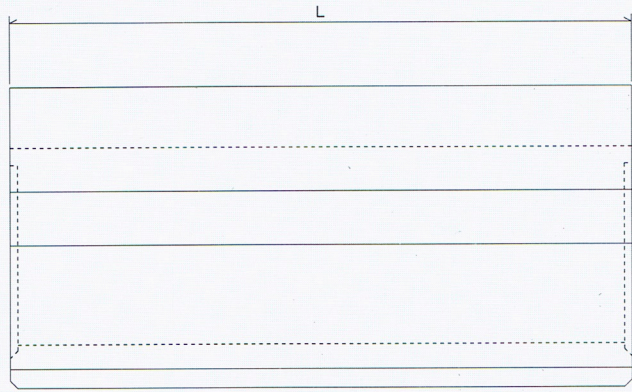
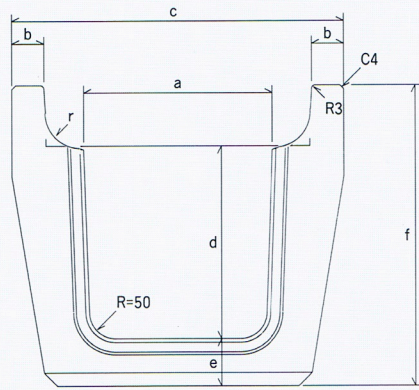
## リボン側溝の特徴

1. 構造的要因（蓋受け部を曲面）により、ガタつき音が減少できる。
2. 騒音防止ゴム等を使用する必要がない。
3. JIS道路用側溝（JIS A 5345）と内空断面が同じで、しかも自動車設計荷重25t対応。
4. 本体の蓋受け部が曲面のため、側溝掃時に異物が溜まらない。
5. 蓋の取り外しが容易である。





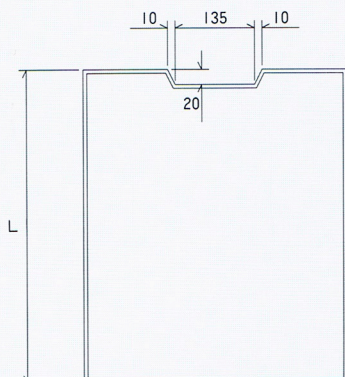
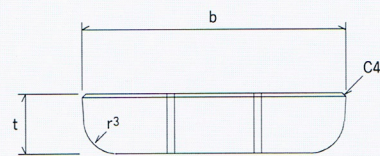
# 本体



(単位: mm)

呼び名	寸法							参考重量 (kg)
	a	b	c	d	e	f	L	
R-250	250	45	460	250	65	405	2000 又は 1000	383
R-300A	300	50	520	300	70	465		479
R-300B	300	50	520	400	70	565		564
R-300C	300	50	520	500	80	675		610
R-400A	400	55	630	400	70	580		618
R-400B	400	55	630	500	80	690		692

# ふた



呼び名	寸法 (mm)				参考重量 (kg)
	b	t	r	L	
R-250用	360	90	55	500	36
R-300用	410	95	55	500	44
R-400用	510	110	55	500	64









## リボーン側溝(ふたがガタ付かない側溝)

Reinforced concrete Reborn guttere for roadside

側溝形状の歴史は、現場打ちコンクリート側溝から始まり、その後、生産工場の近代化、製品の品質向上、安定供給、生産コストの低廉化などにより、二次製品側溝は今や道路側溝の大部分を占める様になって来た。

高度経済社会の日本に於いて、車の保有台数は年々増加の一途を辿っている現在、街中の一車線道路は道路側溝に蓋をし、狭い道路をより有効に活用し、安全に車の通行が出来る様になってきた。

しかし、現状況下において社会問題になっている事がある。それは側溝蓋の騒音である。従前の現場打ち側溝もさる事ながら、二次製品側溝の蓋も騒音が発生しているのである。それも一旦、音が出始めるとコンクリート面同士が打ち合うた

め、蓋と受けの間隙が益々大きくなり、小石や土などを排除しても騒音は止められなくなってしまった。

最近、騒音防止用ゴムを使用し騒音の減少に一役買っている。しかし、騒音がなくなる訳ではなく、またゴム自体の耐用年数が限られているため、完全に解決されているものではない。

この度のリボーン側溝は受けの部分・蓋の部分が曲線になる事で、構造的に車の通行による騒音を減少させるというのである。

側溝形状の従前からの既成概念を振り払い、新しい側溝形、いわゆるリボーン側溝(ふたがガタつかない側溝)と名した。



 菊田陶業株式会社

本 社 / 〒981 宮城県仙台市青葉区堤町二丁目3番12号  
TEL 022-272-1122(代) FAX 022-275-2242

黒松工場 / 〒981 宮城県仙台市青葉区北根黒松2番30号  
TEL 022-271-7333(代) FAX 022-271-7331

富谷工場 / 〒981-33 黒川郡富谷町三の関字坂下124番地  
TEL 022-358-3191(代) FAX 022-358-5166

大和工場 / 〒981-36 黒川郡大衡村大瓜土橋17番20号  
TEL 022-345-3746 FAX 022-345-3746